

東京都立 多摩総合医療センター

地域医療機関アンケート結果について

医療連携室長・副院長 押 正也



当院では、地域医療連携体制の一層の充実を図るため、アンケート調査を実施させて頂きました。医師会の先生方には大変お忙しい中、ご協力いただきまして、深く感謝申し上げます。

この度アンケート結果をまとめましたので、その概要を以下にご報告いたします。

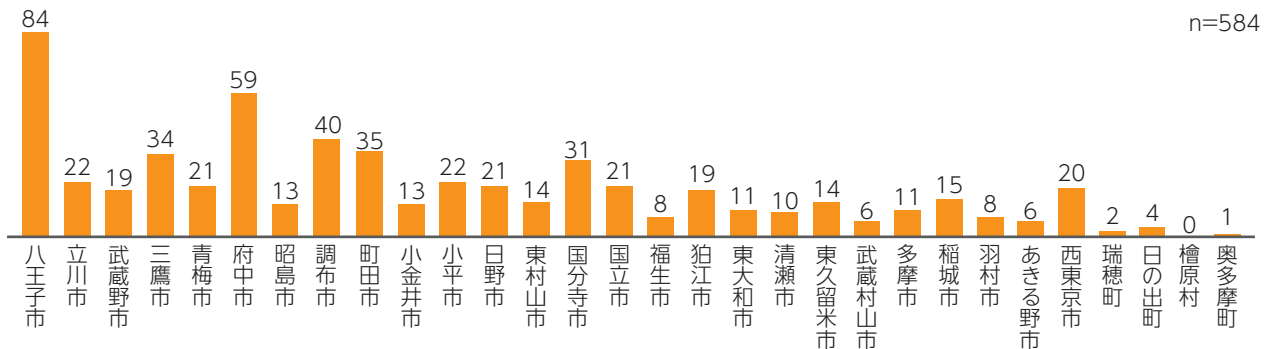
当院の受入体制については8割超の医療機関に概ねご満足いただいている一方、特に患者さん受入時の対応や予約方法・状況についてご不満を抱かれている状況を改めて認識いたしました。また、これまでご紹介いただけてない先生方からもご意見を頂きました。お寄せいただきました貴重なご意見を真摯に受け止め、院内で周知し出来ることから早急に改善して行きたいと存じます。今後も患者さん・医療機関の皆さまにご満足いただけるよう、より一層と地域医療支援病院としての役割を果たしていく所存ですので、よろしくお願いいたします。

また、当院ホームページのリニューアルを3月末に予定しておりますが、これにより患者さん・医療機関の皆さまにより多くの情報をわかりやすく発信していきますので是非ご利用ください。

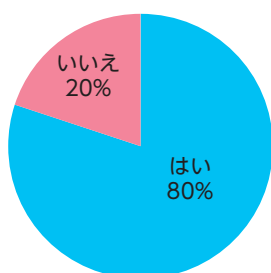
◆アンケート調査実施概要

- 実施期間 平成27年4月1日～平成27年6月30日
- 実施対象 市部の医師会に所属する医療機関
- 配布方法 医師会を通じてアンケート用紙を配付（配布数：2,417通）
- 回収方法 各医療機関から当院宛に直接郵送またはFAX（回収数：584通、回収率24.2%）

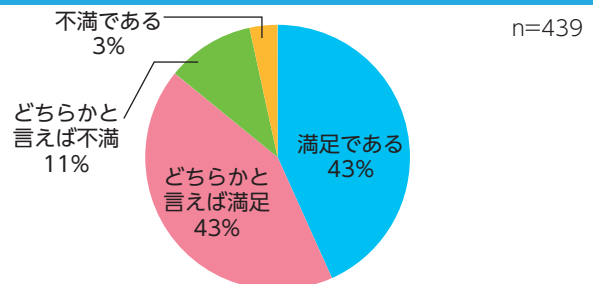
◆貴院の所在地を教えてください



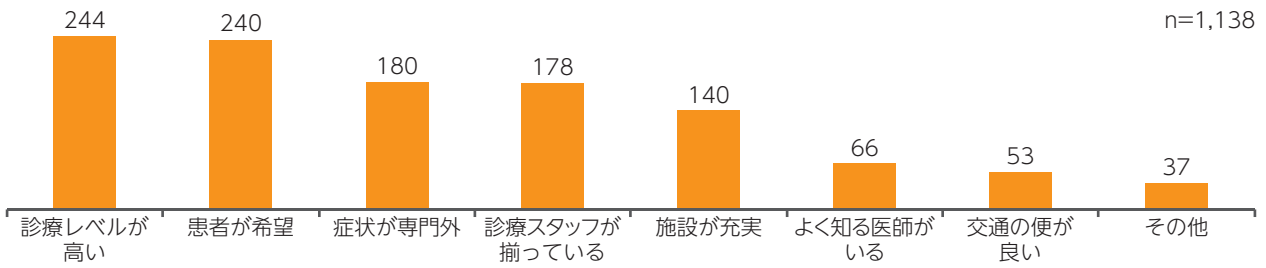
◆当院に患者さんをご紹介いただいたことはありますか



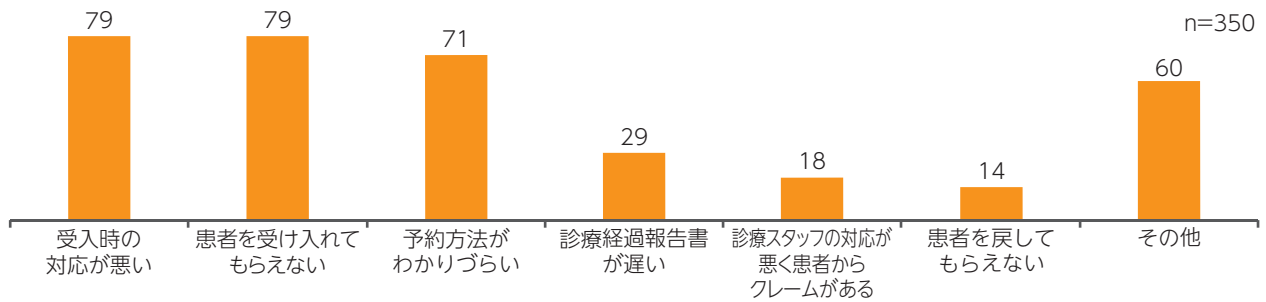
◆当院の患者さんの受入体制はいかがですか



◆当院へ患者さんをご紹介していただく理由を教えてください（複数回答可）



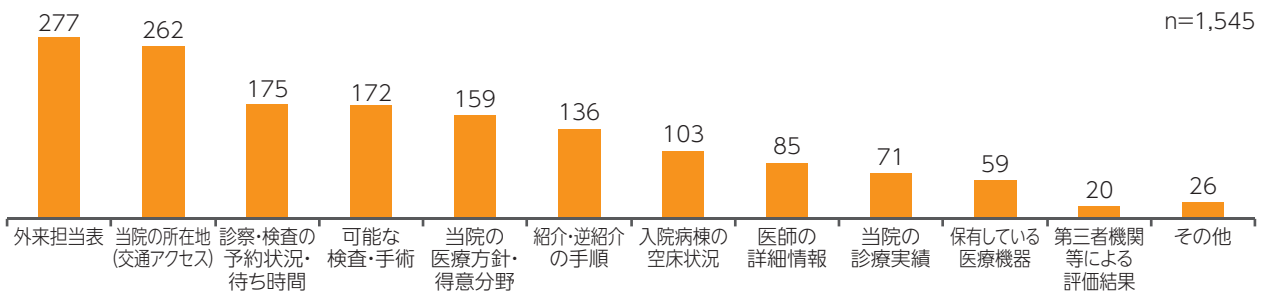
◆当院へ患者さんをご紹介していただく際に不満な点があれば教えてください（複数回答可）



その他の主なご意見

- ・予約が取れない、予約方法が複雑、予約までの日数が長い
- ・診療経過報告書の送付がない
- ・ベッドの空きがないという理由で断られる

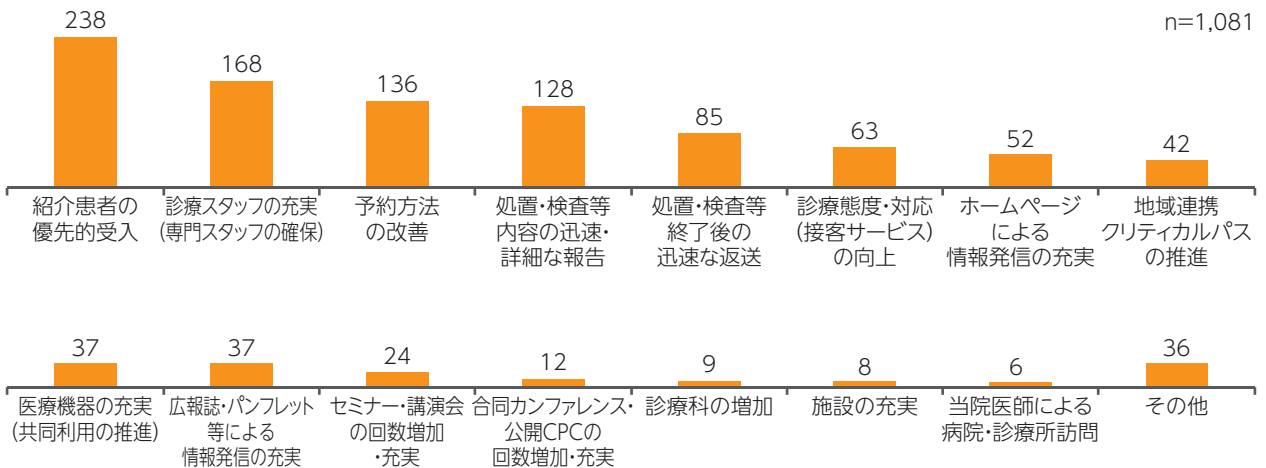
◆当院へ患者さんをご紹介していただく際に必要と思われる情報はどのような情報ですか（複数回答可）



その他の主なご意見

- ・患者配布用の案内図（交通アクセス）だけを記載したもの
- ・当直医が何科の専門であるかわかるとよい
- ・紹介患者優先受入枠の有無

◆貴院の期待に応じていくため、当院には何が必要であるとお考えですか（複数回答可）



その他の主なご意見

- ・診療スタッフの顔の見える会を開催してほしい
- ・一定の病床を医療連携枠として確保してほしい
- ・母体搬送をできるだけ多く受け入れてほしい



神経・脳血管内科のご紹介



神経・脳血管内科部長(予定) 上田 雅之

この度、多摩総合医療センターに神経・脳血管内科が新規開設されますので、ご紹介させていただきます。平成27年10月より月曜日の外来(午後)を私が非常勤医師として担当してきましたが、週1回ということでご不便をおかけしてきました。平成28年4月1日より上田雅之部長・西山康裕医長・村賀香名子医員の3人体制で赴任予定となり、フルタイム診療を行う運びとなりました。私たちは日本医科大学神経内科学教室出身の神経内科専門医・脳卒中専門医であり、脳卒中から神経難病まで幅広い領域の診療に従事してきました。当科では特に神経救急の代表疾患である脳卒中を中心とした診療をさせていただきます。

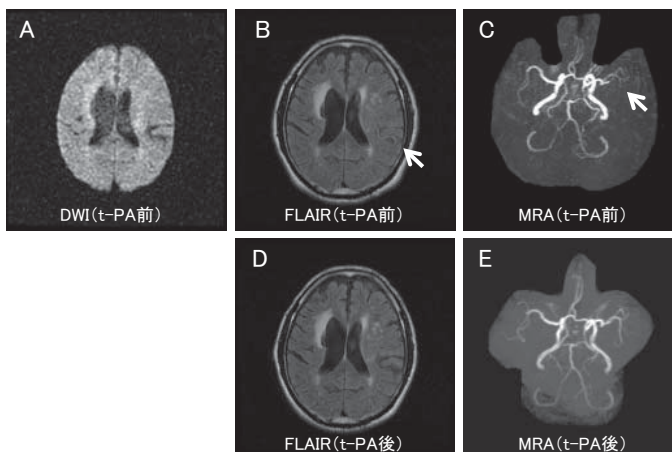
外来診療

外来は月曜日から金曜日まで原則として予約制とさせていただきますが、お急ぎの場合には遠慮なくご連絡ください。早急に対応させていただきます。当科は主に脳卒中および脳卒中ハイリスクの患者さん、頸動脈狭窄が疑われる患者さんの診断と内科的治療を担い、頸部内頸動脈高度狭窄症や頭蓋内主幹動脈狭窄症・閉塞症などでは経験豊富な脳神経外科と連携して外科治療も検討させていただきます。また、神経内科領域の主要な症状であるめまい・しびれ・頭痛の患者さん、そして多彩な症状を示す神経疾患についても神経難病医療を専門とする脳神経内科と協力して対応させていただきます。

入院診療

当院には6床の脳卒中集中治療室(SCU)があり、MRIは24時間稼働しています。神経・脳血管内科と脳神経外科とがチームを組み、包括的な脳卒中診療を行うことを目指します。脳梗塞・一過性脳虚血発作を当科、緊急手術となり得る脳出血・くも膜下出血を脳神経外科が担当致します。発症後4.5時間以内の超急性期脳梗塞に対しては組織プラスミノゲンアクチベーター(t-PA)静注療法を検討し、また発症後8時間以内の適応症例に対しては脳神経外科と協力して血管内治療(血栓回収・吸引)を行います。なお、脳卒中ではないが脳卒中類似症状を呈する疾患(stroke mimics)の診断・治療も積極的に行い、必要に応じて隣接する都立神経病院の脳神経内科と協力してよりよい医療を提供したいと思います。

当院も日本医科大学付属病院も超急性期脳梗塞に対するt-PA静注療法と急性期血管内治療の東京都内における実施件数の上位を占める施設であり、平成28年4月1日からの当院では脳卒中診療に精通した神経内科医と脳神経外科医が協力して脳卒中診療を行う体制となる予定です。多摩地域における脳卒中診療のさらなる充実を目指して努力してまいりますので、近隣医師会・医療機関の諸先生方には、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



▲心原性脳塞栓患者(右片麻痺・失語)におけるt-PA静注療法

入院時DWI(A)で異常高信号はなく、FLAIR画像(B)で左側に動脈閉塞を示唆する高信号(intra-arterial sign)、MRA(C)で左中大脳動脈分枝の血流信号途絶を認めた。直ちにt-PA静注療法を行い、症状は完全に消失した。フォローアップMRIでは、FLAIR画像(D)で新規脳梗塞は出現せず、MRA(E)で閉塞血管の再開通を認めた。



▲神経・脳血管内科スタッフ 向かって左から村賀、上田、西山



【退職】平成28年1月31日付

産婦人科医員

永岡 晋一

●● 各種講習会・勉強会のご案内(医療従事者向け) ●●

医療連携臨床懇話会

平成28年3月17日(木) 午後7時～午後9時 講堂フォレスト

- 「炎症性腸疾患の診断と治療」 消化器内科 非常勤 吉岡 篤史
- 「心房細動性脳梗塞予防のための新たな治療戦略：
超低侵襲左心耳閉鎖術」 心臓血管外科部長 大塚 俊哉

※演題等に変更がある場合がございます。詳細は別途ご案内いたします。

公開CPC

平成28年3月17日(木) 午後6時～午後7時 4階401会議室

※平成28年度の開催等詳細については、別途ご案内いたします。

●● 各種講習会・勉強会のご案内(患者さん向け) ●●

※参加無料、事前予約不要です

糖尿病講習会 (会場：都立多摩総合医療センター講堂フォレスト)

- 「糖尿病神経障害」「フットケアについて」「食事の自己評価方法」

日時：平成28年3月16日(水) 午後2時から午後4時

※平成28年度の日程については、詳細が決まり次第、当院ホームページに掲載いたします。

当院は原則として、**紹介予約制**です。
外来及びCT、MRI検査は必ず予約を取り、
紹介状をお願い致します。

<電話予約センター>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL : 042-323-9200

ご意見、ご投稿、お問い合わせは
医療連携係(秋山・飯岡 内線2171)まで

<FAXによる診療予約>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

FAX : 042-323-9205

緊急の場合…必ず事前にご連絡ください

代表電話：042-323-5111から、①平日の午前9時～午後5時は「〇〇科責任医師」、②午後5時以降、土曜日、日曜日及び祝祭日は「〇〇科の救急担当医」とお申し付けください。

※一部の診療科では、夜間・休日は専門医がおりませんので診療できない場合があります。

※受診が決まった場合は、患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しください。

